愛知人形劇センターPRESENTS

主催:文化庁・特定非営利活動法人 愛知人形劇センター
協賛:損害保険ジャパン日本興亜株式会社
制作:特定非営利活動法人 愛知人形劇センター

P新人賞2015 最終選考上演会

2016年2月14日(日)
開演14:00(開場13:30)

入場料 前売2,100円
(当日2,400円)

会　場 損保ジャパン日本興亜
人形劇場ひまわりホール

最終選考上演作品

人形劇団くりきんとん
『モーリーの見つけもの』(大阪府)

人形劇団サバラン
『忘れっぽい天使』(石川県)

人形劇団望ノ社
『DEBRIS』(栃木県)

各作品の紹介は、裏面をご覧下さい。

P新人賞は、
人形劇のP、オブジェ+身体パフォーマンスのPです。
人形劇ジャンルの明日を担う斬新な才能を
発掘するために開催します。
最終選考上演会で、選考委員と観客の皆さんで、
P新人賞1作品と観客賞1作品を決定します。
P新人賞受賞作品には賞金20万円と
2016年度にひまわりホールにて
新作の上演を実施して頂きます。

これまでのP新人賞受賞団体

P新人賞2011
Puppet Theaterゆめみトランク『やぎのおはなし』(愛知県)

P新人賞2012
人形劇団ネンネンネムネム!ねむり鳥『幽霊(ネムリドリ・ゴースト・ストーリィ)』(東京都)

P新人賞2013
banko(バンコ)『さなぎのとき』(神奈川県)

P新人賞2014
ベビー・ピー 山ぐるみ人形劇『桜の森の満開の下』(京都府)

最終選考委員

安住 恭子(演劇評論家)
杉田 信博(世界ウニマ評議員)
玉木 暢子(人形演劇企画室β)
高橋 一元(人形劇団わたぐも)

P新人賞2015実行委員長

木村 繁
(特定非営利活動法人 愛知人形劇センター理事長)

お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人 愛知人形劇センター ※お申込み・お問い合わせは、なるべくメールにてお願いいたします。

Webサイト http://aichi-puppet.net/　TEL 052-212-7229(平日10:00～18:00)
メール mail@aichi-puppet.net　FAX 052-212-7229

愛知人形劇センター 検索

文化庁委託事業「平成27年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

最終選考上演作品のご紹介

人形劇団くりきんとん『モーリーの見つけもの』(大阪府)

上演作品紹介

人をつくり、揺らし、動かすのは心である。
人は心の生き物だ。触れ合う心は体を、頭を、支配する。
心は中軸でありながら目には見えない。
感じるしかないなんて、厄介な。
それでも心を感じとり寄り添いたい。
気負いなく、騒ぎ立てず、サラリと自然に。
モーリーが迷子のカメとママを探す旅にでたように。
モーリーの自覚のない優しさが、カウボーイの唄と共に、
荒野に吹き渡る温かで爽やかな風となり、
観る人の心を揺らす事を願って。

スタッフ
作／演出／美術／音楽　山田千佳子

劇団プロフィール

音楽家・造形作家の山田千佳子を中心に、より高度な芸術表現を追求し、2012年に活動を開始する。作品ごとにオリジナル曲を作詞・作曲。ピアノを音源とし、生演奏で歌い、演じ、ストーリー展開をしていく事で、心地よいスピード感、ワクワクする躍動感、ドキドキする臨場感を創りだす。不思議でユニーク、色彩豊かな造形物と共に、人形達が表情豊かに動き出す。

人形劇団くりきんとん「モーリーの見つけもの」

人形劇団サバラン『忘れっぽい天使』(石川県)

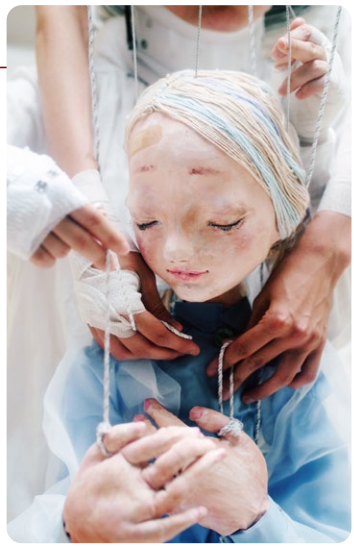
上演作品紹介

車に乗っていて事故に遭い、記憶の一部を失くしてしまったひかり。姉のユカから、運転していた母は死んだと聞かされる…。
チャームポイント程度におでこに絆創膏を貼ったひかり人形を操るのは、全身包帯ぐるぐる巻きの演者。
肉体と精神、現実と妄想、そして記憶が、約束事を自由に飛び越え、現代を生きる人物たちの危うさ可愛さ愚かさ強さを照らし出す。

スタッフ
脚本／山本江梨
人形制作／籾倉梢恵・吉田裕梨
音楽／安田紗代子

劇団プロフィール

金沢美術工芸大学の女の子たちが「乙女の暇つぶし」のために2012年に旗揚げし、翌年から同大学の「人形演劇部」として活動を認められる。劇団名はお菓子のサバランに由来。
団員は全員女の子、ほとんどが演劇未経験で、普段は絵画や彫刻、芸術学などを学んでいる。(卒業生も多数在籍)
不定期に催される「お茶会」で作品の内容が決まっていく。脚本も人形もすべてオリジナルで制作している。



人形劇団望ノ社『DEBRIS』(栃木県)

上演作品紹介

2011年、東日本大震災。大勢の人々が命を失い、さらにそれ以上の人々が家を失った。失われた家や人々の持ち物は太平洋へ押し流され、やがて海をただよう「漂流物」となった。
それから2年後。漂流物は、長い、長い旅をへて、カナダ西海岸に流れ着きはじめた。それらの中には、この物語の主人公-バスケットボール、バイク、イシダイの姿もあった。
彼らの長い旅路を追った、摩訶不思議な冒険物語が、今はじまる。

劇団プロフィール

矢内世里とダニエル・ウィッシーズによる、国際パペットカンパニー。2012年にイギリスで発足して以降、イギリス・カナダ・日本の各都市で国際的な人形劇活動を行う。影絵劇を中心に据えながら、様々な人形劇手法を作品に取り入れることで、望ノ社独自のスタイルを生み出す。
笑いがあって、なお心の隅にじんと残るものがある。そんなテーマを全作品に込め、「人形劇でしか表現できない舞台」の創造を目指している。